

## IV 調査・研究

### 1 生涯学習に関する調査・研究

#### (1) 学習ニーズ調査

##### ア 目的

令和2年度「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶ一講座』」の受講者を対象に調査をし、今後の本県における生涯学習を推進するための基礎資料とする。

##### イ 対象

「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶ一講座』」の受講者 373人

##### ウ 調査方法

アンケート法

##### エ 調査の時期

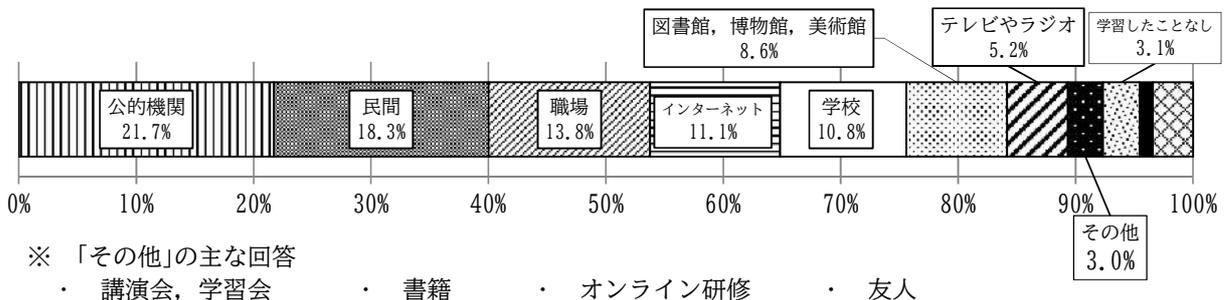
令和2年8月～令和3年2月

##### オ 調査結果

##### (ア) 学習場所・形態

(複数回答, 単位: 人)

場所・形態	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
公的機関		0	0	10	6	32	39	61	52	8	2	0	210	21.7%
民間		0	0	10	8	14	37	58	47	2	0	1	177	18.3%
職場		0	0	16	15	43	36	19	0	4	0	0	133	13.8%
インターネット		0	0	7	6	18	27	36	11	0	1	1	107	11.1%
学校		0	0	6	2	16	18	46	16	0	0	0	104	10.8%
図書館, 博物館, 美術館		0	0	3	4	19	17	26	8	4	1	1	83	8.6%
テレビやラジオ		0	0	0	1	8	11	14	14	2	0	0	50	5.2%
その他		0	0	2	4	3	4	8	8	0	0	0	29	3.0%
学習したことなし		0	0	1	2	7	4	9	7	0	0	0	30	3.1%
分からない		1	2	1	2	1	2	1	1	0	0	0	11	1.1%
無回答		0	0	2	0	0	9	12	8	1	0	1	33	3.4%
合計(延べ)		1	2	58	50	161	204	290	172	21	4	4	967	100.0%
回答者実人数		1	2	25	23	72	76	96	64	10	2	2	373	



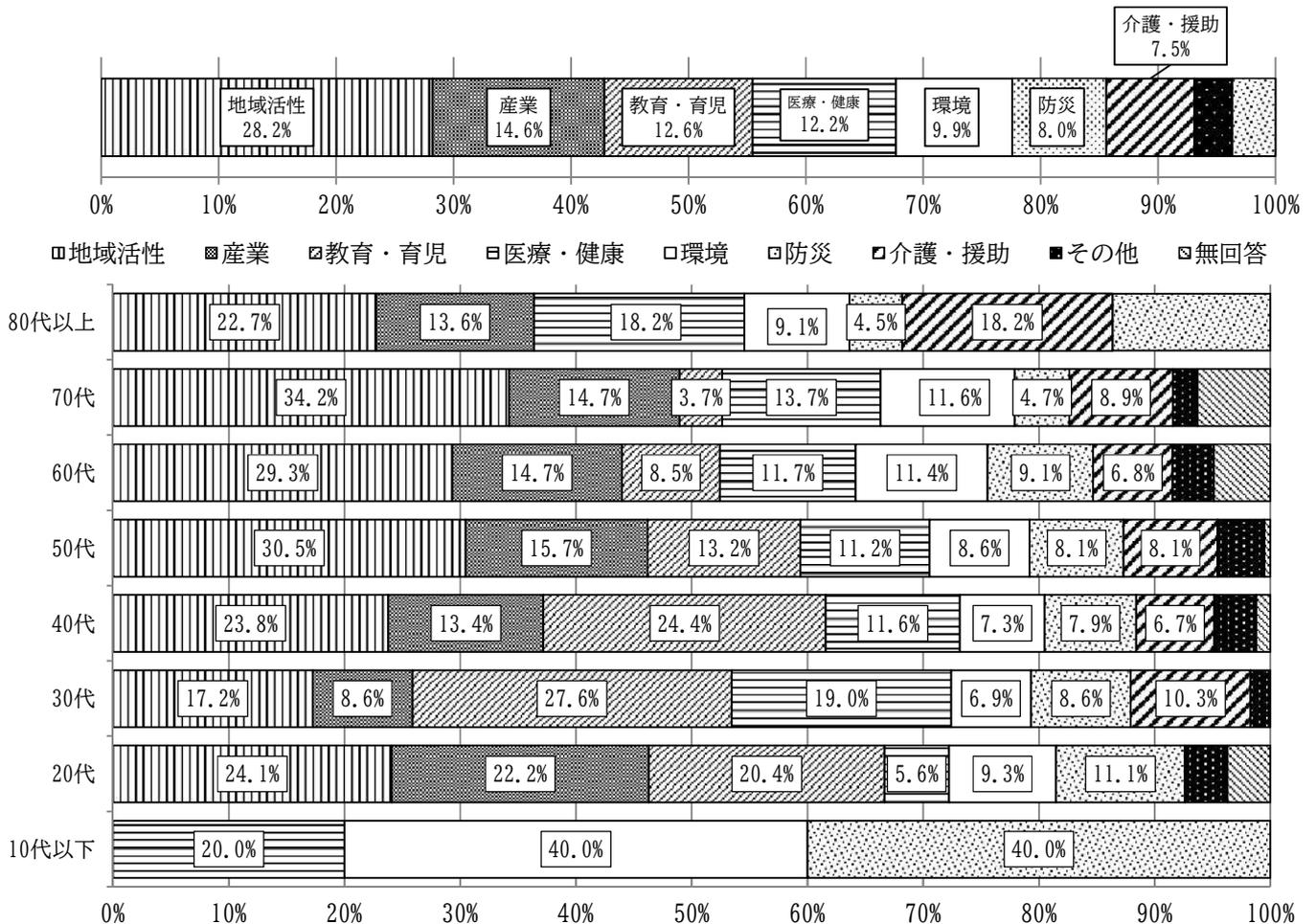
##### (イ) 受講したいテーマ

(複数回答, 単位: 人)

テーマ	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
地域活性		0	0	13	10	39	60	90	65	3	2	0	282	28.2%
産業		0	0	12	5	22	31	45	28	2	1	0	146	14.6%
教育・育児		0	0	11	16	40	26	26	7	0	0	0	126	12.6%
医療・健康		1	0	3	11	19	22	36	26	4	0	0	122	12.2%
環境		0	2	5	4	12	17	35	22	2	0	0	99	9.9%
防災		0	2	6	5	13	16	28	9	1	0	0	80	8.0%
介護・援助		0	0	0	6	11	16	21	17	4	0	0	75	7.5%
その他		0	0	2	1	6	8	11	4	0	0	0	32	3.2%
無回答		0	0	2	0	2	1	15	12	3	0	2	37	3.7%
合計(延べ)		1	4	54	58	164	197	307	190	19	3	2	999	100.0%
回答者		1	2	25	23	72	76	96	64	10	2	2	373	

##### ※ 「その他」の主な回答

- ・ 歴史・文化・民族
- ・ 異常気象, 災害対応
- ・ 国際交流
- ・ 芸術
- ・ 自然科学, 地球科学
- ・ インターネット, ICT

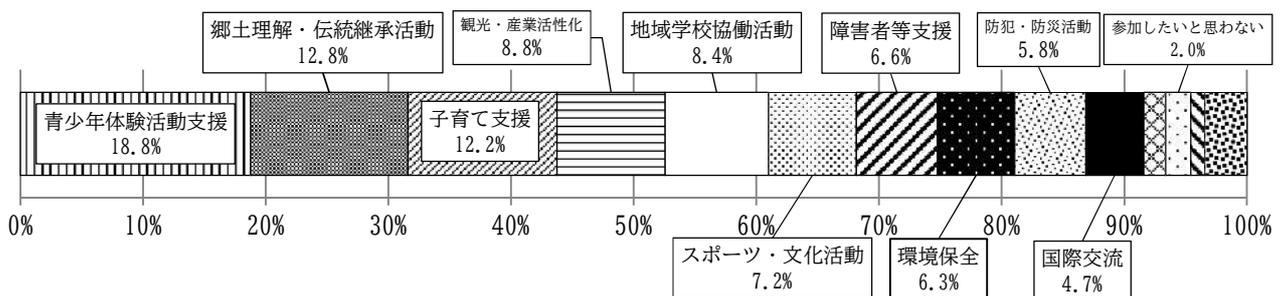


- ・地域活性への関心は特に50代から70代が高いが、どの世代でも比較的兴趣があることがわかる。
- ・産業は20代以上のどの世代にも興味があることがわかる。

(ウ) 受講後に参加したい活動

(複数回答, 単位: 人)

活動	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
青少年体験活動支援		0	0	15	16	37	45	59	56	2	0	0	230	18.8%
郷土理解・伝統継承活動		0	0	9	6	28	32	42	34	4	2	0	157	12.8%
子育て支援		0	0	10	18	34	34	39	14	0	0	0	149	12.2%
観光・産業活性化		0	2	8	8	17	36	19	16	1	1	0	108	8.8%
地域学校協働活動		0	0	6	7	20	28	25	16	1	0	0	103	8.4%
スポーツ・文化活動		0	0	8	7	18	21	15	17	1	1	0	88	7.2%
障害者等支援		0	0	3	6	13	23	21	14	1	0	0	81	6.6%
環境保全		0	0	6	6	12	13	15	24	1	0	0	77	6.3%
防犯・防災活動		0	0	6	3	12	17	18	14	1	0	0	71	5.8%
国際交流		0	0	4	7	13	17	11	4	2	0	0	58	4.7%
その他		0	0	0	0	2	2	5	13	0	0	0	22	1.8%
参加したいと思わない		0	0	1	0	3	2	9	10	0	0	0	25	2.0%
分からない		0	0	0	1	2	2	4	5	0	0	0	14	1.1%
無回答		1	0	2	0	5	6	12	10	4	0	2	42	3.4%
合計(延べ)		1	2	78	85	216	278	294	247	18	4	2	1,225	100.0%
回答者		1	2	25	23	72	76	96	64	10	2	2	373	



(2) 生涯学習に関する調査

ア 目的

生涯学習に関する県内の推進状況を調査することにより、事業の運営に生かすととともに、生涯学習環境の充実を図る。

イ 対象

県機関等（8部局・教育委員会・県警本部）、市町村（43）、大学・短大等（12）、高等学校（105）、各種学校・専修学校（34）、企業団体（3）、民間教育機関（4）

ウ 調査方法

調査票

エ 調査の時期

令和2年3月～6月

オ 調査結果

(ア) 大学・短大・民間教育機関・企業・団体等の令和元年度の事業数

	講座等開設機関等	講座数	計	受講者数	計	社会人の受入状況			
						特別試験等入学者数	聴講・研究生等受入者数		
1	大学・短大等の公開講座	鹿児島大学	62	196	2,360	6,707	0	234	105
		鹿屋体育大学	15		600		5		0
		鹿児島国際大学	3		333		10		13
		第一工業大学	22		311		0		5
		志学館大学	19		326		1		6
		鹿児島純心女子大学	11		289		0		1
		放送大学鹿児島学習センター	9		392		201		468
		鹿児島県立短期大学	1		206		0		4
		第一幼児教育短期大学	3		6		3		0
		鹿児島女子短期大学	13		314		13		10
		鹿児島純心女子短期大学	25		1,449		1		1
		鹿児島工業高等専門学校	13		121		0		0
2	高等学校 (県立・市立・私立)	県立学校	8校	36	2,000	2,300			
		市立学校	0校	0	0				
		私立学校	2校	3	300				
3	各種学校・専修学校 (開放講座)	公立専修各種学校等	2校	2	257	419			
		私立専修学校等	4校	9	162				
4	企業団体 (講演) (講習会)	県経営者協会		32	2,075	7,027			
		県商工会議所連合会		22	1,223				
		県商工会連合会		175	3,729				
5	民間教育機関	JEUGIAカルチャーセンターイオンモール鹿児島		120	500	23,732			
		南日本放送MBC学園		246	1,390				
		南日本リビング新聞社リビングカルチャー倶楽部		290	8,450				
		山形屋文化教室		72	13,392				

(イ) 県機関の生涯学習関連事業数

実施部署	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
知事部局	総務部	36	36	34	35	32	20
	企画部	5	4	5	5	5	5
	PR・観光戦略部*						5
	環境林務部	15	15	14	13	10	8
	くらし保健福祉部*	14	14	14	14	14	15
	商工労働水産部	9	9	8	7	7	2
	農政部	7	7	7	7	8	5
警察本部	5	4	4	4	4	4	4
教育委員会	117	117	133	137	149	130	120
合計	208	206	219	222	229	194	181

\* 県庁機構改革により平成30年度から「PR・観光戦略部」が新たに設置された。また「保健福祉部」が「くらし保健福祉部」に再編された。

※ 平成30年度までは実施予定調査であったが、令和元年度より実施調査に変更。

(ウ) 市町村における他機関との連携事業の実施状況

1	学校等(幼・保・小・中・高・専修学校・大学等)と連携して開設する生涯学習事業	13市	2町	1村	42件
2	企業等と連携して開設する生涯学習事業	4市	2町	2村	20件
3	民間教育機関(NPO法人、カルチャーセンター等)と連携して開設する生涯学習事業	13市	4町	0村	27件
4	他市町村と連携して開設する生涯学習事業	5市	5町	0村	15件

※ 平成30年度までは実施予定調査であったが、令和元年度より実施調査に変更。

## 2 かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会

### (1) 概要

大学等（高等教育機関）の知の財産を活用したさらなる生涯学習の振興を図るために、県内の大学等に呼びかけて、かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会（以下「懇談会」という。）を開催し、県と大学等の共催による講座等の開催や、本センター主催事業への参画などについて幅広く情報交換を行う。

### (2) 事業内容

#### ア 目的

大学等が持つ知の財産を県の事業に反映していく。

- (7) 大学等がもつ専門的な知識や研究の成果等を県民に還元する講座等を提供する。
- (イ) 大学等が持つ調査・研究力を県の事業に反映させ事業の改善・充実に生かす。
- (ウ) 大学等が行政に期待する事項等を把握することで相互にメリットのある連携を模索する。
- (エ) 永続的なネットワークの仕組みを構築する。（大学コンソーシアム等）

#### イ 内容

- (7) 懇談会開催のための企画部会の開催と事業計画の作成
- (イ) 懇談会の開催

懇談会は県内国公立大学、私立大学、高等専門学校など、県内の大学等に幅広く呼び掛ける。

### (3) 企画部会

#### ア 日時

令和2年8月25日（火）15:00～16:00

#### イ 場所

鹿児島大学共通教育棟2号館

#### ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（産学・地域共創センター生涯学習部門）

・小栗 有子 准教授 ・酒井 佑輔 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科

・金子 満 准教授 ・農中 至 准教授

かごしま県民大学中央センター 2名

#### エ 内容

- ・懇談会のテーマについて
- ・懇談会の内容、運営について ほか

### (4) 懇談会

#### ア 日時

令和2年11月14日（土）14:00～15:30

#### イ 場所

交流センター制作演習室

## ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（産学・地域共創センター生涯学習部門）

小栗 有子 准教授

酒井 佑輔 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科

金子 満 准教授

農中 至 准教授

鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター長

河野 一典 教授

鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系

前田 博子 教授

第一工業大学 社会・地域連携センター長

福山 厚子 教授

かごしま県民大学中央センター 所長兼生涯学習課長

青谷 有美代 外6名

## エ 内容

### (7) テーマ

本県の生涯学習推進のための、市町村支援の立場に立った生涯学習推進センター（かごしま県民大学中央センター）と高等教育研究機関としての大学等の協力体制のあり方

### (1) 詳細

- ・ 趣旨説明，中央センターの役割と取組
- ・ 現状の共有～大学等が実施する公開講座や地域貢献事業等の状況
- ・ 協議

### (ウ) 主な意見

〈大学等が実施する公開講座や地域貢献事業等の状況〉

- ・ 産学・地域共創センターが運用されて3年目である。企業との関わりは強まっているが行政・NPO等との関わりが薄い。大学と地域を結ぶ新しい制度づくりが必要である。
- ・ 県内の各教育委員会社会教育課・生涯学習課との繋がりを強化する必要がある。
- ・ 社会教育・生涯学習における学生教育・社会人教育の必要性を感じている。
- ・ 市町村からはコミュニティにおけるプラットフォームづくりの支援要請がある。人材育成の重要性を感じている。（大学における社会教育主事・社会教育士の育成）
- ・ 学生が大学の枠を超えて、どの大学の講座も受講することができるようになれば素晴らしい。中央センターによるプラットフォームの整備を期待する。
- ・ 住民向けの健康講座・指導講座を開催しているが、なかなか人が集まらない。
- ・ 地元で愛される、必要とされる大学になることが重要である。公開講座はコロナの影響もあり、YouTubeやローカルTVでも流している。
- ・ 地域創生のために、市民レベルの面白さ、魅力ある講座・事業を提供している。

〈グループ協議での主な意見〉

- ・ それぞれの所属で所属長が変わっても連携できる仕組み作りが進んでおり、本会は時宜を得た取組である。
- ・ 中央センターには、大学同士を繋ぐハブの役割も担ってほしい。
- ・ 市町村を支援する上で、何をテーマに連携するのか、課題のマッチングを丁寧に行う必要がある。
- ・ 県民の生涯学習支援は大学の使命でもある。特に、離島を有する鹿児島にあっては大学にとっても意義深いものである。